



THE MAUREEN AND  
MIKE MANSFIELD FOUNDATION

Connecting People and Ideas to Advance Mutual Interests in U.S.-Asia Relations

## モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団ニュースレター

2024 年 5 月 22 日

### 目次

#### [新副理事長着任](#)

[米首脳会談共同声明:「マンズフィールド財団」に言及](#)

[マンズフィールド財団、PCI 橋渡し賞を受賞](#)

[マンズフィールドフェローの活動報告](#)

[他プログラムの活動報告](#)

[発刊物のお知らせ](#)

[第 28 期マンズフィールドフェローの紹介\(2\)](#)

---

## サラ・ハリガー財団副理事長着任

2024 年 3 月 4 日付でサラ・ハリガー氏がモーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団の副理事長に着任しました。

ハリガー副理事長:「マンズフィールド財団の一員になれることを大変光栄に思っており、マンズフィールド大使がおっしゃったように、今日のように加速し縮小する世界において、私たちは聞くこと、受け入れること、妥協すること、知識を深めること、そして理解を示すことの模範を示す責任があります。私は相互理解を築く交流の力を深く信じており、故マンズフィールド大使のレガシーを守るために、財団の優れた理事会とスタッフとともに働くことを楽しみにしています。」

ハリガー氏の 15 年以上にわたるキャリアのうち、最近ではモリス・トンブソン文化ビジターセンターの事務局長として 5 年、その前の 10 年は米国の外交官として勤務し、サウジアラビア、インド、日本、イラク、フランス等への赴任経験があります。

[サラ・ハリガー副理事長プロフィール](#)

[着任のお知らせ\(日本語\)](#)

---

## 日米首脳共同声明(「未来のためのグローバル・パートナー」)

### 弊財団について言及

2024年4月10日(米国時間)、ワシントンDCを公式訪問した岸田首相はバイデン大統領と日米首脳会談を行い、その後に出された共同声明およびファクトシートにて、マンズフィールド財団およびマンズフィールド大使、また財団が支援しているモンタナ大学マンズフィールドセンターが言及されました。

外務省ホームページ: [日米首脳共同声明](#)

別添(PDF): 日本語(仮訳)

[日米首脳共同声明「未来のためのグローバル・パートナー」](#)(下記、言及箇所抜粋)

(p.11)「マンズフィールド研修計画設立30周年を祝い、我々は、モンタナ大学マンズフィールドセンターとマンズフィールド財団を通じたマンズフィールド大使の貢献のレガシーに敬意を表する。両首脳はまた、モンタナ大学に日本政府の拠出により、マンズフィールド記念日本・インド太平洋研究教授職が創設されたことを歓迎する。」

[ファクトシート: 岸田総理大臣の国賓待遇での米国公式訪問](#)(下記、言及箇所抜粋)

(p.16)「人と人とのつながりー我々の人と人とのつながりは、日米同盟の基盤となっている。市民社会は、過去170年にわたる日米両国の緊密な関係の原動力のひとつとなってきた。日米両国は、最も長く駐日米国大使を務めたマンズフィールド大使の遺産と、マンズフィールドセンター及びマンズフィールド財団を通じた同大使の日米関係へのとてつもない貢献を認識する。」

---

## マンズフィールド財団、PCI 橋渡し賞を受賞

マンズフィールド財団は、[パシフィック・センチュリー・インスティテュート\(PCI\)](#)が2000年に創設した「Building Bridges(橋渡し)賞」において、本年度の団体部門で選ばれ、2月29日にロサンゼルス市のビバリーヒルズホテルで行われたPCIのガラディナーにて表彰され、財団のフランク・ジャヌーシ理事長が代表して賞を受け取りました。本賞は、環太平洋地域において理解の橋渡しをすることによってPCIのビジョンを体現する個人と団体に与えられます。

[PCI Winter News 2024](#) (英語)

---

## マンズフィールドフェローの研修活動報告

[マンズフィールド・フェローシップ・プログラム](#)

第27期マンズフィールドフェロー一覧は[こちら](#)

### ◆第 27 期、外務省による沖縄研修

第 27 期マンスフィールドフェローは、2 月 26 日から 3 月 1 日の日程で行われた外務省が主催する沖縄研修に参加しました。同省沖縄事務所の宮川学沖縄担当大使をはじめ、那覇市長、宜野湾市長、在沖米国総領事などを表敬訪問した他、陸上自衛隊や航空自衛隊那覇基地なども訪問しました。また地元の経済界や学生との交流の機会もあり、石垣島での訪問では、地元伝統の八重山ミンサー織を体験しました。フェローは本研修を通して、沖縄の地政学的重要性や現地の状況を直接学び、日米同盟についてさらなる理解を深めました。

[外務省沖縄事務所 Facebook](#)



### ◆第 27 期フェロー、日本のモノづくりの現場視察(トヨタ・パナソニック)

第 27 期マンスフィールドフェローは、財団の [CFM\(コーポレート・フレンズ・オブ・マンスフィールド\)](#) 会員であるトヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ)とパナソニック・ホールディングス株式会社(以下、パナソニック)のご協力のもと、4 月 11 日に愛知県豊田市、12 日に大阪府門真市を訪れました。11 日はトヨタ会館、元町工場、トヨタ産業技術記念館、12 日にパナソニック本社、パナソニックミュージアム(松下幸之助歴史館・ものづくりイズム館)を訪問し、両社のモノづくりの取り組みと歴史を学ぶ貴重な機会を得ました。



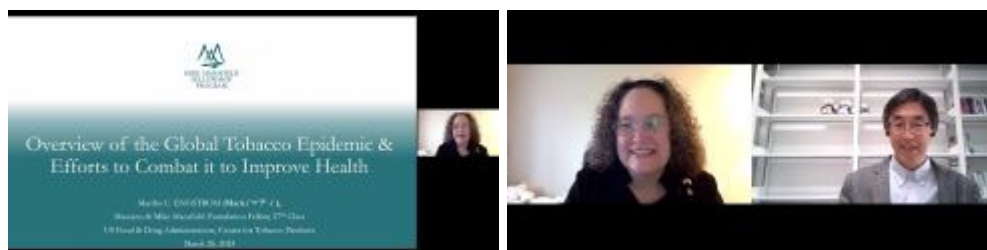
#### ◆第 28 期フェロー、出発前オリエンテーション実施

2月28日から3月1日(米国時間)、今年の7月に来日する第28期マンスフィールドフェロー向けの出発前オリエンテーションがワシントン DC にて実施されました。本オリエンテーションでは、コロナ以降初めて人事院担当者による対面での個別面談の時間も設けられ、それぞれが提出した日本政府省庁での研修希望先の提案書への助言を受けました。また同時に、今年度から外務省の支援で実施されている日本理解のためのセミナーが行われ、立教大学のはま田江里子准教授(政治学)と第20期フェローでかつ国防総省政策担当国防次官オフィスでシニア・ジェンダー・アドバイザーを務めるモニカ・ヘレラ氏が「日米関係: 政治・平和・安全保障における女性」をテーマとした講義をしました。



#### ◆2023 年度 GRIPS-マンスフィールド合同セミナー・シリーズ第 3 回開催

3月28日、[政策研究大学院大学\(GRIPS\)](#)とマンスフィールド財団の2023年度第3回目の合同セミナーが行われ、第27期マンスフィールドフェローのマーサ・エングストローム(米国食品医薬品局/FDA)が、「[世界的なたばこの蔓延状況と、健康改善に向けた対策](#)」と題した講義を行いました。世界中で800万人以上が喫煙を起因として死亡、年間約2兆ドルの医療費と生産性の損失があるという問題に対し、データを用いて日米の喫煙状況の比較し、さらに米国における禁煙の取り組みを紹介しました。GRIPSの小野太一教授がモデレーターを務め、日本の研究者からの専門的な質問でより深みのある講義となりました。



## ◆第 27 期フェローのその他の活動(写真)



## 他財団プログラムの活動報告

### ◆マンスフィールド・次世代日米核政策専門家プログラム:第 2 期生メンバー決定

[「マンスフィールド・次世代日米核政策専門家」プログラム](#) の第 2 期生が選出され、日本時間 4 月 4 日に初回となるキックオフミーティングが開催されました。対話型ウェビナーやワシントン D.C.での 7 日間の対面式研修を控え、日米安全保障関係強化に有意義な貢献をすべく、日米の参加者 10 名がその喜びを分かち合いました。

### ◆対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」(米国):有識者及び同窓生の意見交換会(オンライン)

[カケハシ・プロジェクト](#)の参加経験者による親日的・知日的活動及びネットワークの活動を促進するためのフォローアップ事業の一環として、3 月 22 日、オンラインによる有識者及び同窓生の意見交換会が[一般財団法人国際協力センター\(JICE\)](#)

によって行われました。本プロジェクトはマンسفールド財団が外務省より運営を委託され、JICE が実施しています。意見交換会では、フランク・ジャヌージ理事長が運営者側として挨拶をするとともに、第 27 期マンسفールドフェローでエンケムジカ・オファディレカラサーズ(米国教育省 計画・評価・政策開発部 政策・プログラムアドバイザー)が有識者の一人として参加し、2023 年度の米国とカナダの招へい参加者の高校生と対話を持ちました。

#### ◆その他活動(ワシントン DC)

4 月 9 日 「[Reacting to Russia's War Against Ukraine](#)」(スピーカー: Matteo Dian 教授ボローニャ大学(伊)、青木尚子博士(ランド研究所))

4 月 11 日 「[Korean Election Results Roundtable](#)」(スピーカー: Jaehan Park 博士(ジョンズホプキンス大学 SAIS)、Seoho Lee 氏(マクラリー・アソシエーツ))

4 月 12 日 「[U.S.-Japan Alliance in an Age of Great Power Competition](#)」(スピーカー: 松田拓也博士(東京大学)、James Brady 氏(テネオ))

## 発刊物のお知らせ

#### ◆第 27 期マンسفールドフェローの記事が The Diplomat に寄稿

第 27 期マンسفールドフェローのアンドリュウ・オーチャード米国海軍中佐が The Diplomat に寄稿しました。

“[Back to Engagement: China's Escort Task Force Naval Diplomacy Post-COVID](#)” (The Diplomat 2024 年 3 月 20 日)

“[Taiwan Debates a Presidential Visit to the South China Sea](#)” (The Diplomat 2024 年 3 月 27 日)

“[Indo-Pacific Deployment 2024 Highlights Japan's Naval Diplomacy](#)” (The Diplomat 2024 年 4 月 23 日)

## 第 28 期マンسفールドフェローの紹介(2)

2024 年夏に[マンسفールド・フェローシップ・プログラム](#)で渡日予定の第 28 期生の 10 人のうち、今回はリリー・マノ氏、マシュー・マツヤマ氏、エイミー・シャープ氏の 3 人を紹介します。

#### リリー・マノ 第 28 期マンسفールドフェロー

米国住宅都市開発省 福祉・住宅局 環境プログラム専門官



私は住宅都市開発省の高齢者福祉・住宅局の高齢者環境スペシャリストです。専門は高齢者住宅と高齢者のための災害対策に焦点を当てた、高齢者のための地域と環境の安全規制についてです。住宅都市開発省は、異常気象や海面上昇、その他の気候変動がもたらす人的・金銭的被害を軽減するための革新的な解決策を今も模索し続けています。

一方、日本は、アメリカと同様、気候変動がもたらす影響の中で、混雑した都市空間における高齢化人口のための住宅の持続可能性、震災からの回復、適応性に関して、ユニークで並外れた問題に長い時間をかけて、取り組んできています。

フェローシップにおける私の目的は2つあります。1 つは、日本政府から先進的な気候変動政策を持ち帰り、米国で最も弱い立場にある人々により良いサービスを提供できるよう米国のプログラム、政策、組織構造に反映させることです。2つ目は、高齢者の安全性を向上させ、活力を高め、孤立と闘い、高齢者のコミュニティ形成をより効果的なものにするための高齢者住宅戦略とロジスティクスに関する専門知識を提供することである。

私の好きなスポーツは相撲で、自由があれば序ノ口から幕内まですべての相撲の番付を見るのが好きです。また動物が大好きで、2匹のスフィンクス(毛のない猫)を日本に連れていく予定です。環境に対する尊敬の念は、子供の頃に観た宮崎駿の映画『もののけ姫』に影響を受けています

---

### マシュー・マツヤマ 第28期マンスフィールドフェロー

米国国土安全保障省 連邦緊急事態管理庁(FEMA) 連邦保険局 統計学者



連邦緊急事態管理庁(FEMA)の統計学者として、全米洪水保険制度(NFIP)を分析しています。NFIPは官民のパートナーシップで、米国で最も頻繁に発生し多額の費用がかかる自然災害を軽減するための貴重な保護を提供します。洪水は、どの州や地域でも起こりうることから、NFIPによる保護の重要性は気候変動の進行により今まで以上に高まっています。私は、NFIPのマーケティングのベストプラクティスを組み立てることや、リスク情報に基づいた意思決定の促進を担っています。マンスフィールド・フェローシップは、国境を超えた知識の共有と緊急事態管理の分野における国際的なベンチマーキングに携わることを提供する機会を与えてくれます。

2011年の東日本大震災を含め、日本は長い間洪水に関連した危機と闘ってきました。実際、私が防災に興味を持ったきっかけはこの悲劇的な出来事でした。震災が起きた数か月後、私は東京の慶應義塾大学で1年間交換留学をしました。日本でのオリエンテーションの一環として、クラスメートと私は地震シミュレータを訪れ、日本の一般的な住宅で様々な地震のマグニチュードの影響を体験しました。政府が推奨した取り組みである「セツデン」のもとで生活したことを今でも鮮明に覚えています。復興期には、この制度が長期的な停電の防止に重要な役割を果たしていました。日本の同僚と防災対策について意見交換をし、彼らの啓発キャンペーンについて学ぶことを楽しみにしています。

国際関係の学部を卒業後、日本に戻り、岐阜市の小中学校で英語を教えていました。その経験からインスピレーションを受け、日本語の勉強をさらに進め、日本の地方に焦点を当てた国際経済学の修士課程に進みました。修士課程在学中は、カリフォルニア大学サンディエゴ校の日本研究センターのリサーチアシスタントとして、日米間のビジネス関係を調査しました。

学生期間を通しての目標の一つは日本語能力試験のN1レベルに合格することでした。これは日本語を母国語としない私にとって、乗り越えられない挑戦のように思えました。しかしながら、幸運なことにボーレン・フェローシップの支援を得て、一橋大学で1年間フルタイムの学生として日本語を勉強することができ、その結果、目標を達成することができました。修士号取得後、語学力を生かして三菱総合研究所の環境・エネルギー部門で研究員として働き、その後、連邦緊急事態管理庁に入庁しました。

元ポーレン・フェローとして、公共サービスへ貢献し、その語学力を連邦政府でのキャリアに生かし、国家安全保障をより向上させることを目標に日本語を勉強しました。この点で、マンフィールド・フェローシップは私のキャリアの集大成であり、さらなる豊富な知識と人脈を携えて所属機関に戻ることを楽しみにしています。

---

## エイミー・シャープ第 28 期マンフィールドフェロー

### 米国原子力規制委員会(NRC) 原子力規制研究局 原子炉システムエンジニア



私は米国原子力規制委員会(NRC)原子力規制研究局で原子炉システムエンジニアとして勤務しており、原子力安全規制の影響分析をするためのツールやガイダンスの開発に取り組んでいます。私は過去 10 年間、想定される深刻な原子力事故が与える環境、社会経済、健康への影響のモデル化そしてその理解における原子力規制委員会のキャパシティ向上に努めています。現職以前、米国海軍に原子力推進オフィサーとして7年間勤め、その内 2 年間は横須賀を拠点とする海軍で唯一前方展開されている原子力空母に乗艦していました。

原子力規制委員会は、規制と安全性の意思決定が国際的な科学的知見に基づいたものであるためにも国際共同研究の促進に重きを置いています。在籍中、深刻な事故の現象学的研究に関連したダイナミックなデータと分析の交換を国際的なカウンターパートと共に行う貴重な経験を得ました。この経験を通して、日本にいる同僚たちが行う強力な原子力規制プログラムと福島事故の特有な経験から蓄積した豊富な質の高いデータを高く評価するようになりました。最近日本は原子力発電を再開し、化石燃料への依存度を減らす計画を発表しました。私はこの件に関して米国を代表して日本政府とさらなる共同研究を促進していきたいと願っています。

マンフィールド・フェローシップの参加を通して、オフサイトの物的損害、社会経済的影響、事故後の長期的な復興事業に焦点を当て、原子力事故が現実世界に与える影響について見識を得る事が第一の目標です。フェローシップを通して得る知識や経験は、公衆衛生と安全を守るための証拠に基づいた意思決定の支援をする原子力規制庁の規制影響分析ガイドラインや確率論的リスク評価コードのアップデートの指針となると期待しています。さらに、省庁が行っている安全研究活動の幅広い認識を活用し、日本やその他原子力関連機関と将来共同研究が可能となるように原子力規制委員会の国際戦略の形成を目指しています。マンフィールドフェローとしてこのような素晴らしい経験をすること、そして米国と国際社会の安全と幸福に有意義な貢献をすることを楽しみにしています。

---

■このニュースレターは、関連団体、実施事業関係者のほか、以下の方々にお送りしています。

- ・当財団スタッフとの面談、取材、名刺交換、メール通信等により個人情報をご提供いただいた方
- ・当財団主催/後援のセミナー、講演会等にご参加いただいた方

■皆様からいただきました個人情報は当財団の主催または後援によるセミナー等のご案内の送付に使わせていただきます。

■ニュースレターの新規登録・配信停止または登録内容の変更は、お手数ですが以下のメールまでお知らせください。

[tokyoinfo@mansfielddn.org](mailto:tokyoinfo@mansfielddn.org)

[日本語トップに戻る↑](#)



# Maureen and Mike Mansfield Foundation Monthly Newsletter

May 22, 2024

## Contents

[Our New Vice President](#)

[Japan-U.S. Joint Leaders' Statement with the mention of the Mansfield Foundation](#)

[Mansfield Foundation Receives PCI's Building Bridges Award](#)

[Mansfield Fellows' Activities Update](#)

[Other Mansfield Foundation Program News](#)

[Publication](#)

[MFP28 Fellows' Self Introductory Messages \(2\)](#)

---

## Our New Vice President

The Maureen and Mike Mansfield Foundation are pleased to announce that Ms. Sara Harriger joined its Washington, D.C., office on March 4 as Vice President.

"I am honored to join the Mansfield Foundation," said Ms. Harriger. "As Senator Mansfield once said, in today's accelerating, shrinking world, we have the responsibility to set an example of listening, accommodation, compromise, knowledge, and understanding. I believe deeply in the power of exchanges to build that kind of mutual understanding, and I look forward to working with the outstanding board and staff at the Mansfield Foundation to steward this legacy." Ms. Harriger has more than 15 years of professional experience, including five years as the Executive Director of the Morris Thompson Cultural and Visitors Center in her home state of Alaska. Previously, she served for over a decade as a U.S. diplomat, including assignments in Saudi Arabia, India, Japan, Iraq, and France.

[View this news on our English web page.](#)

---

## Japan-U.S. Joint Leaders' Statement: ("Global Partners for the Future")

[The name of the Mansfield Foundation mentioned](#)

On April 10, 2024, Prime Minister Kishida, during his official visit to Washington D.C., held a Japan-U.S. Summit Meeting with U.S. President Joseph Biden. In the joint statement and fact sheet issued afterwards, the Mansfield Foundation, the late Ambassador Mansfield, and the University of Montana Mansfield Center, which the Mansfield Foundation supports, are mentioned.

Website of Ministry of Foreign Affairs: [Japan-U.S. Joint Leaders' Statement](#)

(Reference) Attached PDF

(1) [Japan-U.S. Joint Leaders' Statement: "Global Partners for the Future"](#) (See below for an excerpt from the mentioned parts)

(p.10) "Celebrating the 30th anniversary of the establishment of the Mansfield Fellowship Program, we honor the legacy of Ambassador Mansfield's contributions through the University of Montana Mansfield Center and Mansfield Foundation. The two leaders also welcome the creation of the Government of Japan endowed Mansfield Professor of Japanese and Indo-Pacific Affairs at the University of Montana."

(2) [Fact Sheet: Japan Official Visit with State Dinner to the United States](#) (See below for an excerpt from the mentioned parts)

(p.15) "Our people-to-people ties serve as the bedrock of our Alliance. Civil society has been one of the driving factors of our close relationship over the past 170 years. Our two countries recognize the legacy of Ambassador Mansfield, the longest-serving U.S. Ambassador to Japan and his incredible contributions to the relationship through the Mansfield Center and Mansfield Foundation."

---

## Mansfield Foundation Receives PCI's Building Bridges Award

The Mansfield Foundation was selected for this year's PCI Building Bridges Award, which was established by the [Pacific Century Institute \(PCI\)](#) in 2000. On February 29, the institutional award was presented to the Mansfield Foundation, represented by its President and CEO, Frank Jannuzi, at the annual award gala dinner at the Beverly Hills Hotel in Los Angeles. This award recognizes one individual and one institution who has exemplified PCI's vision by bringing the people of the Pacific Rim closer by building bridges of understanding.

[PCI Winter News 2024](#)

---

## Mansfield Fellows' Activities Update

[About the Mansfield Fellowship Program](#)

Please find the list of the 27th Mansfield Fellowship [here](#)

### ◆MFP27 Fellows, MOFA Okinawa trip

The Mansfield Fellows of the 27th class participated in the Okinawa trip sponsored by the Ministry of Foreign Affairs from February 26 to March 1. They paid courtesy calls to Ambassador Manabu Miyagawa, in charge of Okinawa

affairs at the Ministry's Okinawa Liaison Office, and others including the Mayor of Naha, the Mayor of Ginowan, and the U.S. Consul General in Okinawa. They visited the Ground Self-Defense Force and the Air Self-Defense Force Naha Air Base and had opportunities to interact with the local business community and students. During their stay, they also visited Ishigaki Island where they experienced the local traditional Yaeyama Minsa weaving. Through this trip, the fellows learned directly about the geopolitical importance of Okinawa and the local situation and deepened their understanding of the Japan-U.S. Alliance.

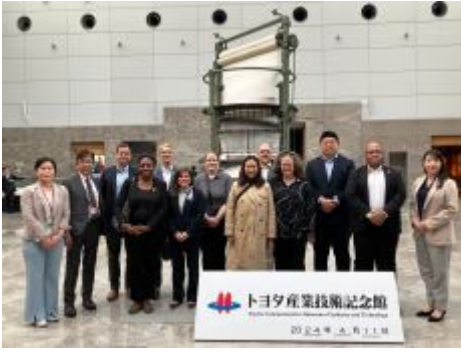
[Facebook of Okinawa Liaison Office, MOFA](#)



---

#### ◆MFP27 Fellows, On-Site Visit to Japanese Manufacturing (TOYOTA & Panasonic)

The Mansfield Fellows of the 27th class visited Toyota City, Aichi Prefecture and Kadoma City, Osaka Prefecture, on April 11 and April 12 with the cooperation of Toyota Motor Corporation (hereinafter Toyota) and Panasonic Holdings Corporation (hereinafter Panasonic). Both are members of the Foundation's [CFM \(Corporate Friends of Mansfield\)](#). The fellows were guided to Toyota Kaikan, its Motomachi Plant, and Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology in Toyota City on April 11 and visited the Panasonic Headquarters and the Panasonic Museum (Konosuke Matsushita Museum and Hall of Manufacturing Ingenuity) in Kadoma City on April 12. They had a valuable opportunity to learn about the manufacturing efforts and history of both Japanese companies.



---

### MFP28 Fellows, Pre-departure Orientation in Washington, D.C.

From February 28 to March 1st (US local time), the Mansfield Foundation Washington D.C. Office held the Pre-Departure Orientation for the new Mansfield Fellows of the 28<sup>th</sup> class who will come to Japan this July. It was the first time since the end of the COVID-19 pandemic that there were face-to-face individual interviews with officials from Japan's National Personnel Authority, and each fellow received advice on the proposals they had submitted regarding their desired placements at Japanese government ministries and agencies. During the orientation, the Foundation also held a seminar for them to deepen their understanding of Japan, which was implanted for the first time this year with support from the Ministry of Foreign Affairs. In this seminar, Dr. Eriko Hamada, Associate Professor in Political Science of Ryukkyo University and Ms. Monica Herrera, Senior Gender Adviser at the Office of the Undersecretary of Defense for Policy (also a Mansfield Fellow of the 20<sup>th</sup> class) lectured on the topic of Women in Politics, Peace & Security in U.S.-Japan relations.

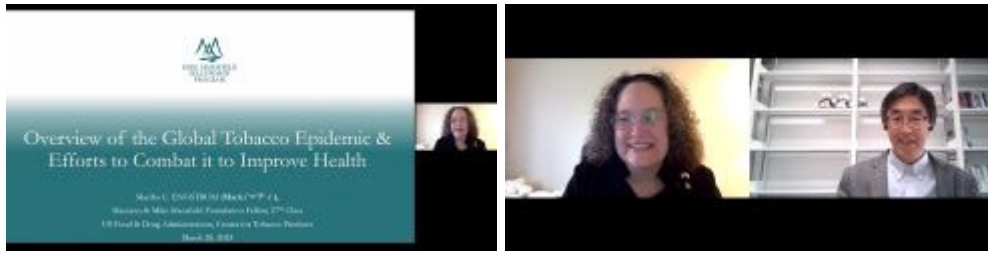


---

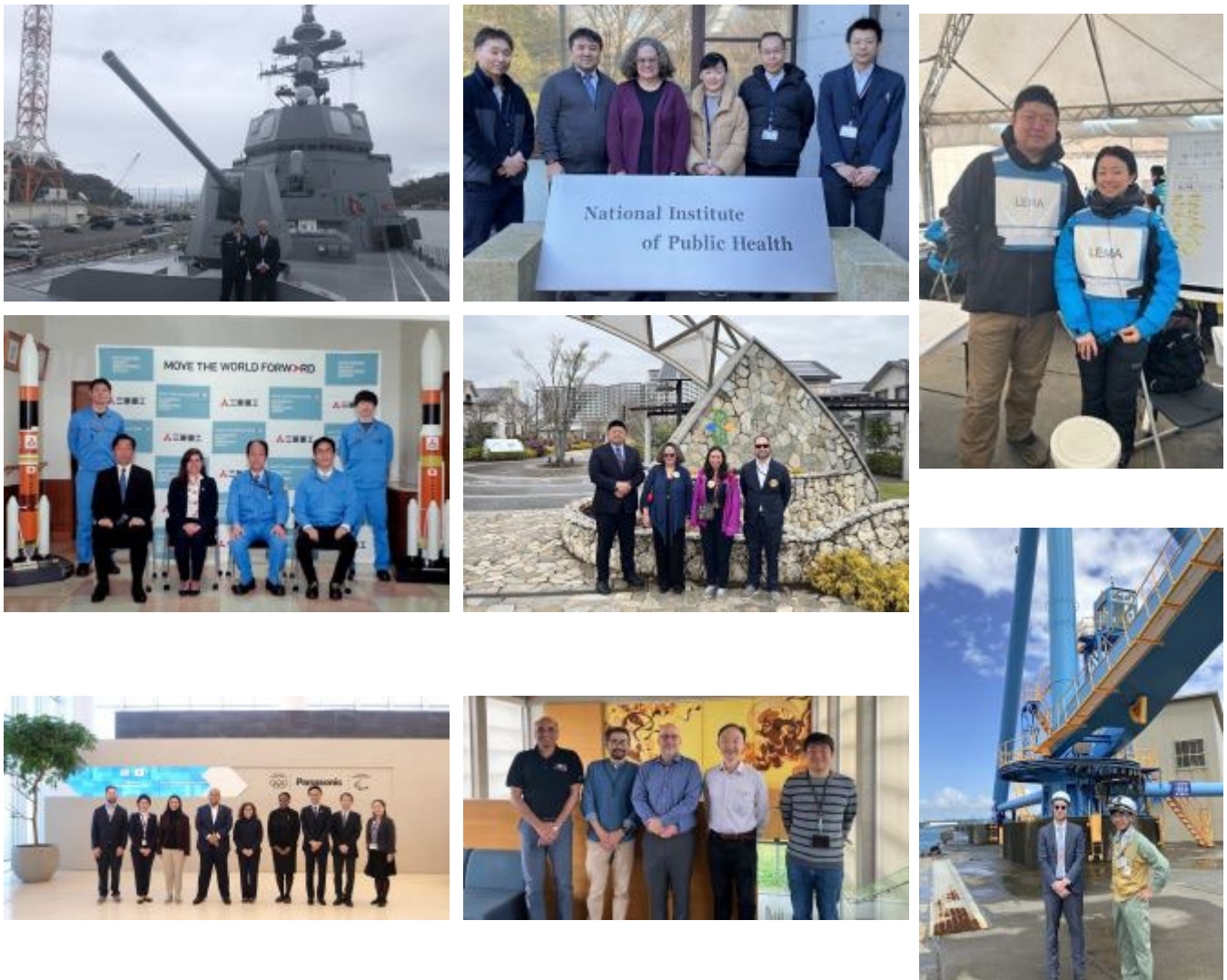
### ◆Third GRIPS-Mansfield Joint Seminar by Mansfield Fellow Held

On February 7, [the National Graduate Institute for Policy Studies \(GRIPS\)](#) and the Mansfield Foundation held a virtual Joint Seminar. In this seminar, Ms. Martha Engstrom (U.S. Food and Drug Administration/FDA), a member of the

current 27th Class of Mansfield Fellows, spoke on the “[Overview of the Global Tobacco Epidemic & Efforts to Combat it to Improve Health](#)” which was moderated by Professor Taichi Ono of GRIPS.



◆MFP27 Fellows' Activity Photos



## Other Mansfield Foundation Program News

### ◆Mansfield Next Generation of U.S.-Japan Nuclear Policy Experts: Second Cohort Selected

We are pleased to announce that the second cohort of [the Mansfield Next Generation of U.S.-Japan Nuclear Policy Experts program](#) has been [officially selected](#) and had its first kick-off online meeting on April 4, 2024 (JST). The new cohort of ten American and Japanese participants shared their excitement about having this exceptional opportunity to make a meaningful contribution to the strengthening of U.S.-Japan security relations through upcoming interactive webinars culminating in an in-person, 7-day immersion training program in Washington, D.C.

---

### ◆KAKEHASHI

As part of a follow-up project of [Japan Friendship Ties Program “KAKEHASHI Project”](#), an opinion exchange meeting (online) by past program participants and expert guests were held by [the Japan International Cooperation Center \(JICE\)](#) on March 22. The Mansfield Foundation is commissioned by the Ministry of Foreign Affairs to serve as the administrative agent and JICE works as the implementing agency. At the opinion exchange meeting, Frank Jannuzi, President and CEO of the Mansfield Foundation gave opening remarks as a program organizer, and Nkemjika Ofodile-Carruthers, a member of the 27<sup>th</sup> Mansfield Fellows (also Policy and Program Advisor, Planning, Grants Policy Office, Office of Planning, Evaluation and Policy Development, U.S. Department of Education) participated as an expert guest, and had dialogues with U.S. and Canadian high school students who joined the program last year.

---

### ◆Other Foundation’s programs

- April 9 [“Reacting to Russia’s War Against Ukraine”](#) (Speakers: Dr. Matteo Dian, Professor of the University of Bologna, Italy, and Dr. Naoko Aoki, Rand Corporation)
  - April 11 [“Korean Election Results Roundtable”](#) (Speaker: Dr. Jaehan Park, Johns Hopkins SAIS, and Mr. Seoho Lee, McLarty Associates)
  - April 12 [“U.S.-Japan Alliance in an Age of Great Power Competition”](#) (Speakers: Dr. Takuya Matsuda, University of Tokyo, and Mr. James Brady, Teneo)
- 

## Publication

### ◆Mansfield Fellow from the 27<sup>th</sup> Class Contributes to *The Diplomat*

Mansfield Fellow, Commander Andrew Orchard, U.S. Navy, had an article published in *The Diplomat*:

[“Back to Engagement: China’s Escort Task Force Naval Diplomacy Post-COVID”](#) (March 20, *The Diplomat*)

[“Taiwan Debates a Presidential Visit to the South China Sea”](#) (March 27, *The Diplomat*)

[“Indo-Pacific Deployment 2024 Highlights Japan’s Naval Diplomacy”](#) (April 23, *The Diplomat*)

---

## MFP28 Mansfield Fellows' Self-Introductory Messages (2)

The Mansfield Foundation Tokyo Office introduces three of the ten Mansfield Fellows from the 28<sup>th</sup> class of the Mansfield Fellowship Program, who will arrive in Japan this summer: Ms. Lillian Mano, Mr. Matthew Matsuyama, and Ms. Amy Sharp.

### **Lillian Mano**

**Program Environmental Specialist, Office of Healthcare Programs, U.S. Department of Housing and Urban Development**



I am a Program Environmental Specialist in the Office of Elder Welfare Healthcare Programs at the U.S. Department of Housing and Urban Development (HUD). I specialize in elder housing, community, and environmental safety regulations for elder populations with a focus on disaster planning for the elderly. HUD continues to seek innovative solutions to mitigate the damage and subsequent costs - both human and financial - wrought by extreme weather events, rising sea levels and other changes to our climate nationwide.

By comparison, Japan has long worked with unique and extraordinary problem sets concerning the sustainability, resilience, and adaptability of housing for an aging population in crowded urban spaces impacted by the same consequences of climate change.

My objective is two-pronged, first to bring back forward-thinking climate policies from Japan's government to inform and improve U.S. programs, policies, and organizational structures to better serve some of our country's most vulnerable populations. Second, to share with my Japanese counterparts my expertise in elder housing strategies and logistics to improve elder safety, increase vitality and combat isolation, systematize, and effectuate community building in elder populations.

My favorite sport is sumo and in my free time, I love watching all divisions from Jonokuchi to Makuuchi. I love animals and am bringing my two sphynx (hairless) cats to Japan. As a child, my respect for the environment was inspired by the movie, Princess Mononoke, by Hayao Miyazaki. I can't wait to form lifelong relationships with my Japanese counterparts.

---

### **Matthew Matsuyama**

**Statistician, Federal Insurance Directorate, Federal Emergency Management Agency (FEMA), U.S. Department of Homeland Security**



As a Statistician for the Federal Emergency Management Agency (FEMA), I analyze the National Flood Insurance Program (NFIP). The NFIP is a public-private partnership that provides valuable protection to mitigate against the United States' most frequent and costly natural disaster. As flooding can occur in any state or territory, the importance of offering NFIP protection is greater than ever due to the ongoing effects of climate change. My responsibilities include uncovering best practices for marketing the NFIP and promoting risk-informed decision making. To this end, the Mansfield Fellowship offers an unparalleled opportunity to engage in cross-border knowledge sharing and international benchmarking in the field of emergency management.

Japan has long grappled with flood-related crises across its history, including the devastating 2011 Tohoku earthquake and tsunami. In fact, I trace my interest in emergency management back to this tragic event, as just months following the disaster, I embarked on a year-long study abroad at Keio University in Tokyo. As a part of our orientation in Japan, my classmates and I visited an earthquake simulator that allowed us to experience the effects of various earthquake magnitudes on a typical Japanese home. I also vividly remember living under setsuden, a government initiative encouraging the conservation of electricity. During the recovery period, the program is thought to have played a pivotal role in the prevention of prolonged blackouts. I look forward to exchanging ideas on emergency management preparedness with my Japanese counterparts and learning more about their public awareness campaigns.

After completing my undergraduate degree in international affairs, I returned to Japan to teach English at an elementary and middle school in Gifu City. My experience there inspired me to further my Japanese language studies and pursue a master's in international economics with a Japan regional focus. While a master's student, I worked as a research assistant for the Japan Forum for Innovation and Technology (JFIT) at UC San Diego investigating business connections between the US and Japan.

One of my goals I hoped to attain during my studies was to pass the Japanese Language Proficiency Test's N1 level, which as a non-native Japanese speaker, always seemed like an insurmountable challenge. However, I was fortunate to receive funding through the Boren Fellowship to study Japanese full-time at Hitotsubashi University for one year and, as a result, was able to accomplish my objective. After graduating with my master's, I worked as a research associate at Mitsubishi Research Institute in Tokyo in the Environment & Energy Division putting my language skills to use before joining FEMA.

As a former Boren Fellow, I made a commitment to public service, and studied Japanese with the goal of applying those language skills in a career in the federal government to better enhance national security. In this regard, I consider the Mansfield Fellowship to be the culmination of my career and look forward to returning to my agency with a wealth of additional knowledge and connections.

---

**Amy Sharp**

**Reactor Systems Engineer, Office of Nuclear Regulatory Research, U.S. Nuclear Regulatory Commission**





I am a Reactor Systems Engineer at the U.S. Nuclear Regulatory Commission's (NRC) Office of Nuclear Regulatory Research, where my work focuses on developing the tools and guidance for conducting regulatory impact analysis of nuclear safety regulations. I have spent the past decade enhancing the NRC's capabilities in modeling and understanding the environmental, socioeconomic, and human health impacts of hypothetical severe nuclear accidents. Before joining the NRC, I served seven years in the U.S. Navy as a Nuclear Propulsion Officer, including two years onboard the Navy's only forward-deployed nuclear-powered aircraft carrier based out of Yokosuka, Japan.

The U.S. Nuclear Regulatory Commission places significant emphasis on fostering international cooperative research to ensure that our regulatory and safety decisions are informed by global scientific knowledge. During my tenure at the NRC, I have had the privilege of collaborating with our international counterparts, engaging in a dynamic exchange of data and analyses related to severe accident phenomenological research. Through these interactions, I have come to appreciate the wealth of high-quality data that our colleagues in Japan have accumulated, stemming from their robust nuclear regulatory program and unique experiences, notably the Fukushima accident. With Japan's recent announcement of plans to restart nuclear plants and reduce reliance on fossil fuels, I am eager to represent the United States in facilitating more research exchanges with the Government of Japan.

With my participation in the Mansfield Fellowship, my primary objective is to gain insights into the real-world impacts of nuclear accidents with a focus on off-site property damage, socioeconomic impacts, and long-term post-accident recovery practices. I anticipate that the knowledge and experience acquired during the Fellowship will help guide updates to the NRC's regulatory impact analysis guidelines and the NRC's probabilistic risk assessment code to support evidence-based decision-making to safeguard public health and safety. Moreover, I aim to leverage the broader awareness of the safety research activities conducted by these ministries to shape the NRC's international strategies for future research collaborations with Japan and its various nuclear-related entities. I look forward to this remarkable journey as a Mansfield Fellow and to making a meaningful contribution to the safety and well-being of our nation and our global community.

■We send this newsletter to organizations/persons related to the Mansfield Foundation's programs, and:

- Those who provide us with personal information through meetings, business-card exchanges, interviews, and e-mail correspondences with the Mansfield Foundation's staff

- Those who attended past events hosted or sponsored by the Mansfield Foundation

■We would like to use the personal information provided in the manners above when we send invitations of events hosted or sponsored by the Mansfield Foundation.

■Please contact the email address below to subscribe/unsubscribe or to change your personal information.

[tokyoinfo@mansfieldfdn.org](mailto:tokyoinfo@mansfieldfdn.org)

[Back to the Top↑](#)

[モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団 / 日本語ホームページ](#)

[Maureen and Mike Mansfield Foundation / English website](#)

 [Facebook](#)

 [Twitter](#)